

対象校No.

注4

学校コード F140310110838

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食環境データサイエンス学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人東筑紫学園  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教務課
職名・氏名	カチョウ ナカノ ヲグヨシ 課長・中野 次吉
電話番号	093-561-2060
(夜間)	093-561-2138
e-mail	kyoumu@knwu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

食物栄養学部

＜食環境データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東筑紫学園

## (2) 大学名

九州栄養福祉大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒803-8511

福岡県北九州市小倉北区下到津五丁目1番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ムロイ ヒロイチ) 室井 廣一 (令和4年4月)		
学長	(ムロイ ヒロイチ) 室井 廣一 (平成16年4月)		
学部長	(ワタナベ ケイイチ) 渡邊 啓一 (令和6年4月)		
学科長等	(ワタナベ ケイイチ) 渡邊 啓一 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
食物栄養学部 食環境データサイエンス学科 学士 (食環境データサイエンス)	家政関係	4年	50人	2年次 0人 3年次 —人 4年次 0人	200人	—	・基礎となる学部等：食物栄養学部食物栄養学科 ・編入学に関しては「受け入れ予定人数は特に定めず、定員に満たない場合に限り、編入学生を受け入れる」として届出。

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	50人 ( ) [ ]	—	0.12倍	一倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	21人 ( ) [ ]				
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	21人 ( ) [ ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	21人 ( ) [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	6人 ( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.12				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
  - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33「収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は「」書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	6 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食物栄養学部 食環境データサイエンス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外の教員 の手を要する	
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教養 科目	キャリアガイダンスⅠ	1前	○	1			4	1					
	キャリアガイダンスⅡ	1後	○	1			4	1					
	キャリアガイダンスⅢ	2前	○	1			4	1					
	キャリアガイダンスⅣ	2後	○	1			4	1					
	食環境データサイエンス概論	1前	○	2			4	1					
	食環境イノベーションデザイン	1後	○	2			1					1	
	農園演習	1通			1								2
	食と経済	1前			2								1
	人間関係の心理	2前			2								1
	基礎生物学	1前			2								1
	基礎化学	1前			2			1					
	化学	1後			2			1					
	リハビリテーション概論	2前			2								3
	コンピュータリテラシー	1前	○	1			1						
	AI・データサイエンス入門	1後	○	1			1						
	実用英語の基礎Ⅰ	1前	○	1									1
	実用英語の基礎Ⅱ	1後	○	1									1
	実用英語	2前			1								1
	国際理解(海外研修)	2前・2後			1								2
健康スポーツ科学Ⅰ	1前			1								1	
健康スポーツ科学Ⅱ	1後			1								1	
健康スポーツ科学Ⅲ	2前			1								1	
健康スポーツ科学Ⅳ	2後			1								1	
小計(23科目)	-			16	15		4	1					10
専門 教育 科目 ／ 食 と 健 康 科 目	解剖生理学	1前					2						1
	生化学	1後	○	2			1						1
	疾病の成り立ちと病態	2後			2								1
	運動生理学	3後			2								1
	食品分子機能学	2後	○	2			1						
	微生物学	1前	○	2				1					1
	食品学総論	1後	○	2									1
	食品衛生学	1前	○	2				1					
	食品加工学	3前	○	2									1
	基礎栄養学	2前	○	2				1					
	応用栄養学	2前			2								1
	臨床栄養学	2後			2								1
	公衆栄養学	2後			2								1
	スポーツ栄養学	3後			2								1
小計(14科目)	-			14	14		2	1					7
専門 教育 科目 ／ デ ー タ サ イ エ ン ス 科 目	微積分学基礎	1前					2						1
	データサイエンスのための微積分学	1後	○	2			1						
	線形代数基礎	1後			2								1
	データサイエンスのための線形代数	1後	○	2									1
	確率統計学基礎	1後			2			1					
	データサイエンスのための確率統計学	2前	○	2			1						
	データサイエンスのための応用数学	2前	○	2			1						1
	プログラミング基礎	1前	○	2			1						
	プログラミング演習	1後	○	1			1						1
	情報ネットワーク	1後	○	2			1						
	データベース入門	2前	○	2			1						
	センシングと信号処理	2後			2								1
	機械学習基礎	2前			2								1
	機械学習演習	2前			1								1
	データ解析基礎	2後	○	2				1					
	データ解析演習	2後	○	1			1						
	ニューラルネットワーク基礎	3前	○	2			1						1
	ニューラルネットワーク演習	3前	○	1			1						
	マルチモーダルAI技術と応用	3後			2								1
	データ駆動型意思決定と可視化	3前			2								1
	食農健康データサイエンス	3前	○	2				1					
	先端AI論	3後	○	2				1					
	フードウェルネスデータサイエンス	3前	○	2			1						1
	バイオインフォマティクス	2後	○	2			1						1
	先端ロボティクス論	3後			2								1
	マーケティングとデータサイエンス	3前	○	2			1						
	マネジメントとデータサイエンス	3後	○	2			1						
	人間とAI	3前			2								1
小計(28科目)	-			48	4		4	2					4

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					外の教員 の手を要する	
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教養 科目	キャリアガイダンスⅠ	1前	○	1			4	1					
	キャリアガイダンスⅡ	1後	○	1			4	1					
	キャリアガイダンスⅢ	2前	○	1			4	1					
	キャリアガイダンスⅣ	2後	○	1			4	1					
	食環境データサイエンス概論	1前	○	2			4	1					
	食環境イノベーションデザイン	1後	○	2			1						1
	農園演習	1通			1								2
	食と経済	1前			2								1
	人間関係の心理	2前			2								1
	基礎生物学	1前			2								1
	基礎化学	1前			2			1					
	化学	1後			2			1					
	リハビリテーション概論	2前			2								3
	コンピュータリテラシー	1前	○	1			1						
	AI・データサイエンス入門	1後	○	1			1						
	実用英語の基礎Ⅰ	1前	○	1									1
	実用英語の基礎Ⅱ	1後	○	1									1
	実用英語	2前			1								1
	国際理解(海外研修)	2前・2後			1								2
健康スポーツ科学Ⅰ	1前			1								1	
健康スポーツ科学Ⅱ	1後			1								1	
健康スポーツ科学Ⅲ	2前			1								1	
健康スポーツ科学Ⅳ	2後			1								1	
小計(23科目)	-			16	15		4	1					10
専門 教育 科目 ／ 食 と 健 康 科 目	解剖生理学	1前					2						1
	生化学	1後	○	2			1						1
	疾病の成り立ちと病態	2後			2								1
	運動生理学	3後			2								1
	食品分子機能学	2後	○	2			1						
	微生物学	1前	○	2				1					1
	食品学総論	1後	○	2									1
	食品衛生学	1前	○	2				1					
	食品加工学	3前	○	2									1
	基礎栄養学	2前	○	2				1					
	応用栄養学	2前			2								1
	臨床栄養学	2後			2								1
	公衆栄養学	2後			2								1
	スポーツ栄養学	3後			2								1
小計(14科目)	-			14	14		2	1					7
専門 教育 科目 ／ デ ー タ サ イ エ ン ス 科 目	微積分学基礎	1前					2						1
	データサイエンスのための微積分学	1後	○	2			1						
	線形代数基礎	1後			2								1
	データサイエンスのための線形代数	1後	○	2									1
	確率統計学基礎	1後			2			1					
	データサイエンスのための確率統計学	2前	○	2			1						
	データサイエンスのための応用数学	2前	○	2			1						1
	プログラミング基礎	1前	○	2			1						
	プログラミング演習	1後	○	1			1						1
	情報ネットワーク	1後	○	2			1						
	データベース入門	2前	○	2			1						
	センシングと信号処理	2後			2								1
	機械学習基礎	2前			2								1
	機械学習演習	2前			1								1
	データ解析基礎	2後	○	2				1					
	データ解析演習	2後	○	1			1						
	ニューラルネットワーク基礎	3前	○	2			1						1
	ニューラルネットワーク演習	3前	○	1			1						
	マルチモーダルAI技術と応用	3後			2								1
	データ駆動型意思決定と可視化	3前			2								1
	食農健康データサイエンス	3前	○	2				1					
	先端AI論	3後	○	2				1					
	フードウェルネスデータサイエンス	3前	○	2			1						1
	バイオインフォマティクス	2後	○	2			1						1
	先端ロボティクス論	3後			2								1
	マーケティングとデータサイエンス	3前	○	2			1						
	マネジメントと												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
専門教育科目 /食環境マネジメント科目	マーケティング論	2後		2								1
	マーケティングリサーチ	3前		2								1
	流通システム論	2後		2								1
	消費者行動論	3前		2								1
	サプライチェーンマネジメント学	3前	○	2								5
	アグリビジネスマネジメント学	3後	○	2								5
	食環境地域連携演習	2後			1	1						2
	インターンシップ	3前・3後			1	1						1
	アントレプレナー論	2前	○	2								5
	アントレプレナー演習	2後		1								5
小計(10科目)	-			7	10		2					9
専門教育科目 /卒業研究	データサイエンス基礎演習	3前	○	1			4	1				
	データサイエンス実践演習	3後	○	1			4	1				
	卒業研究	4通	○	8			4	1				
	小計(3科目)	-		10			4	1				0
合計(78科目)	-			95	43		4	2	0	0		26
卒業要件及び履修方法												
「基礎教養科目」から必修科目16単位を含む24単位以上、「専門教育科目」から必修科目79単位を含む100単位以上、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
専門教育科目 /食環境マネジメント科目	マーケティング論	2後		2								1
	マーケティングリサーチ	3前		2								1
	流通システム論	2後		2								1
	消費者行動論	3前		2								1
	サプライチェーンマネジメント学	3前	○	2								5
	アグリビジネスマネジメント学	3後	○	2								5
	食環境地域連携演習	2後			1	1						2
	インターンシップ	3前・3後			1	1						1
	アントレプレナー論	2前	○	2								5
	アントレプレナー演習	2後		1								5
小計(10科目)	-			7	10		2					9
専門教育科目 /卒業研究	データサイエンス基礎演習	3前	○	1			4	1				
	データサイエンス実践演習	3後	○	1			4	1				
	卒業研究	4通	○	8			4	1				
	小計(3科目)	-		10			4	1				0
合計(78科目)	-			95	43		4	2	0	0		26
卒業要件及び履修方法												
「基礎教養科目」から必修科目16単位を含む24単位以上、「専門教育科目」から必修科目79単位を含む100単位以上、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】
- (1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

特になし。
-------

- (注) ・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年度の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。
- ・ 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
53 科目	25 科目	0 科目	78 科目	0 科目 [ - ]	0 科目 [ - ]	0 科目 [ - ]	0 科目 [ - ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	東筑紫短期大学 (必要校地面積2,400㎡)と共用。 その他面積の小計欄の記入間違いのため訂正。		
	校舎敷地	29,681.70㎡	28,120.93㎡	㎡	57,802.63㎡			
	その他	47,060.40㎡	1,239.00㎡	㎡	48,299.40㎡ <del>48,300.14㎡</del>			
	合計	76,742.10㎡	29,359.93㎡	㎡	106,102.03㎡			
(2) 校舎	専 用	27,147.07㎡ <del>27,068.50㎡</del>	18,667.32㎡	共用する他の学校等の専用 5,136.40㎡ ( 5,136.40㎡)	計 50,872.22㎡ ( 50,872.22㎡)	東筑紫短期大学 (必要校舎面積3,350㎡)と共用 専用・共用部の入力間違いのため訂正。		
		( 27,147.07㎡) <del>( 27,068.50㎡)</del>					( 18,667.32㎡) <del>( 18,667.32㎡)</del>	
(3) 教室・教員研究室		教 室	9 8 室	教員研究室	1 1 9 室	大学全体(東筑紫短期大学と共用を含む)		
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 標本 点 点		
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]			
	食物栄養学部 食環境データサイエンス学科	550 [ 7 ] ( 593 [ 7 ] ) ( 550 [ 7 ] )	17 [ 3 ] ( 17 [ 3 ] )	16 [ 5 ] ( 16 [ 5 ] )	4 [ 4 ] ( 4 [ 4 ] )	( ) ( )	(小倉北区キャンパス)大学・短大での共用分図書 99,285 <del>99,589</del> [3,553] 学術雑誌 91 [9] 電子ジャーナル 2 [2] 学生の修学環境を整備するため、図書を43冊増書した。(6)	
	計	550 [ 7 ] ( 593 [ 7 ] ) ( 550 [ 7 ] )	17 [ 3 ] ( 17 [ 3 ] )	16 [ 5 ] ( 16 [ 5 ] )	4 [ 4 ] ( 4 [ 4 ] )	( ) ( )		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
	2683.78㎡		2683.78㎡		1392.84㎡			
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	550千円	550千円	図書購入費	2,878千円	1,656千円	2,258千円
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	140,350千円 <del>85,728千円</del>	12,437千円	—千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,450千円	第2年次 1,220千円	第3年次 1,220千円	第4年次 1,220千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、手数料、寄付金、資産運用収入等						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州栄養福祉大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
食物栄養学部	4	150	3年次10人	470	-	0.85	-	-	平成13	福岡県北九州市小倉北区下道津五丁目1番1号				
食物栄養学科	4	100	3年次10人	420	学士(実務栄養学)	0.94	-	-	平成13	同上				
食環境データサイエンス学科	4	50	-	50	学士(食環境データサイエンス学)	0.12	-	-	令和7	同上				
リハビリテーション学部	4	120	-	480	-	0.86	-	-	平成23	福岡県北九州市小倉南区原高松一丁目5番1号				
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	0.96	-	-	平成23	同上				
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	0.66	-	-	平成23	同上				
こども教育学部	4	50	-	50	-	0.50	-	-	令和7	福岡県北九州市小倉北区下道津五丁目1番1号				
こども教育学科	4	50	-	50	学士(こども教育学)	0.50	-	-	令和7	同上				
大学全体	4	320	3年次10人	1000	-	0.84	-	-	平成13	福岡県北九州市小倉北区下道津五丁目1番1号				

大学の名称	東筑業短期大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
保育学科	2	70	-	220	短期大学士(保育学)	0.77	-	-	昭和29	福岡県北九州市小倉北区下道津五丁目1番1号				
食物栄養学科	2	50	-	120	短期大学士(食物栄養学)	0.63	-	-	昭和33	同上				
大学全体	2	120	-	360	-	0.68	-	-	昭和29	福岡県北九州市小倉北区下道津五丁目1番1号				

大学の名称	〇〇高等専門学校(該当なし)										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
学校全体														

(注)本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻及び別科を除く)  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種別の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

食物栄養学部 食環境データサイエンス学科

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
基(主専)	教授	渡邊 啓一 (69) 高 <令和7年4月> 農学博士	基(主専)	教授	渡邊 啓一 (70) 高 <令和7年4月> 農学博士	基(主専)	教授	渡邊 啓一 (70) 高 <令和7年4月> 農学博士	基(主専)	教授	渡邊 啓一 (70) 高 <令和7年4月> 農学博士	基(主専)	教授	渡邊 啓一 (70) 高 <令和7年4月> 農学博士
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	教授	赤松 貴文 (52) <令和7年4月> 修士(情報工学)	基(主専)	教授	赤松 貴文 (53) <令和7年4月> 修士(情報工学)	基(主専)	教授	赤松 貴文 (53) <令和7年4月> 修士(情報工学)	基(主専)	教授	赤松 貴文 (53) <令和7年4月> 修士(情報工学)	基(主専)	教授	赤松 貴文 (53) <令和7年4月> 修士(情報工学)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	教授	萩原 勇人 (62) 高 <令和7年4月> 博士(工学)	基(主専)	教授	萩原 勇人 (63) 高 <令和7年4月> 博士(工学)	基(主専)	教授	萩原 勇人 (63) 高 <令和7年4月> 博士(工学)	基(主専)	教授	萩原 勇人 (63) 高 <令和7年4月> 博士(工学)	基(主専)	教授	萩原 勇人 (63) 高 <令和7年4月> 博士(工学)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	教授	大庭 英樹 <令和7年4月> (63) 高 博士(農学甲)	基(主専)	教授	大庭 英樹 <令和7年4月> (64) 高 博士(農学甲)	基(主専)	教授	大庭 英樹 <令和7年4月> (64) 高 博士(農学甲)	基(主専)	教授	大庭 英樹 <令和7年4月> (64) 高 博士(農学甲)	基(主専)	教授	大庭 英樹 <令和7年4月> (64) 高 博士(農学甲)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	准教授	坂尻 徹也 (49) <令和7年4月> 博士(理学)	基(主専)	准教授	坂尻 徹也 (50) <令和7年4月> 博士(理学)	基(主専)	准教授	坂尻 徹也 (50) <令和7年4月> 博士(理学)	基(主専)	准教授	坂尻 徹也 (50) <令和7年4月> 博士(理学)	基(主専)	准教授	坂尻 徹也 (50) <令和7年4月> 博士(理学)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(専他)	准教授	猿澤 雄一 (36) <令和8年9月> 修士(理学)	基(専他)	准教授	猿澤 雄一 (37) <令和8年9月> 修士(理学)	基(専他)	准教授	猿澤 雄一 (37) <令和8年9月> 修士(理学)	基(専他)	准教授	猿澤 雄一 (37) <令和8年9月> 修士(理学)	基(専他)	准教授	猿澤 雄一 (37) <令和8年9月> 修士(理学)
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
その他	客員教授	熊谷 彰 (62) <令和7年9月> 工学学士	その他	客員教授	熊谷 彰 (63) <令和7年9月> 工学学士	その他	客員教授	熊谷 彰 (63) <令和7年9月> 工学学士	その他	客員教授	熊谷 彰 (63) <令和7年9月> 工学学士	その他	客員教授	熊谷 彰 (63) <令和7年9月> 工学学士
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
その他	教授	杉元 康志 (74) <令和7年9月> 農学博士	その他	教授	杉元 康志 (75) <令和7年9月> 農学博士									
		食品学総論 食品加工学			食品学総論 食品加工学									
その他	教授	沖 勉 (75) <令和8年9月> 学士(農学) 学士(医学)	その他	教授	沖 勉 (77) <令和8年9月> 学士(農学) 学士(医学)									
		疾病の成り立ちと病態 臨床栄養学			疾病の成り立ちと病態 臨床栄養学									
その他	教授	橋瀬 千春 (56) <令和8年4月> 博士(食物栄養学)	その他	教授	橋瀬 千春 (57) <令和8年4月> 博士(食物栄養学)									
		応用栄養学			応用栄養学									
その他	教授	竹並 正宏 (58) <令和8年4月> 修士(文学)	その他	教授	竹並 正宏 (70) <令和8年4月> 修士(文学)									
		国際理解(海外研修)			国際理解(海外研修)									
その他	教授	松本 明夫 (54) <令和8年4月> 修士(教育学)	その他	教授	松本 明夫 (55) <令和8年4月> 修士(教育学)									
		人間関係の心理			人間関係の心理									
その他	教授	倉崎 信子 (57) <令和7年4月> 博士(医学) 修士(体育学、文学)	その他	教授	倉崎 信子 (58) <令和7年4月> 博士(医学) 修士(体育学、文学)									
		健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅳ 運動生理学			健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅳ 運動生理学									
その他	教授	大村 美智子 (66) <令和8年9月> 学士(家政学)	その他	教授	大村 美智子 (67) <令和8年9月> 学士(家政学)									
		公衆栄養学 食環境地域連携演習			公衆栄養学 食環境地域連携演習									
その他	教授	田畑 純 (63) <令和7年4月> 博士(学術)	その他	教授	田畑 純 (65) <令和7年4月> 博士(学術)									
		基礎生物学 解剖生理学			基礎生物学 解剖生理学									
その他	教授	佐野 幹剛 (60) <令和7年4月> 修士(生涯発達)	その他	教授	佐野 幹剛 (61) <令和7年4月> 修士(生涯発達)									
		農園演習			農園演習									
その他	教授	石橋 敏郎 (57) <令和8年4月> 修士(地域教育支援類)	その他	教授	石橋 敏郎 (58) <令和8年4月> 修士(地域教育支援類)									
		リハビリテーション概論			リハビリテーション概論									
その他	教授	廣滋 恵一 (52) <令和8年4月> 博士(医学)	その他	教授	廣滋 恵一 (54) <令和8年4月> 博士(医学)									
		リハビリテーション概論			リハビリテーション概論									
その他	教授	四元 孝道 (49) <令和8年4月> 修士(保健学)	その他	教授	四元 孝道 (50) <令和8年4月> 修士(保健学)									
		リハビリテーション概論			リハビリテーション概論									
その他	教授	古川 徹生 (61) <令和7年9月> 博士(工学)	その他	教授	古川 徹生 (62) <令和7年9月> 博士(工学)									
		線形代数基礎 データサイエンスのための線形 代数 データ駆動型意思決定と可視化 人間とAI			線形代数基礎 データサイエンスのための線形 代数 データ駆動型意思決定と可視化 人間とAI									
その他	教授	堀尾 恵一 (52) <令和8年4月> 博士(情報工学)	その他	教授	堀尾 恵一 (53) <令和8年4月> 博士(情報工学)									
		機械学習基礎 機械学習演習 マルチモーダルAI技術と応用			機械学習基礎 機械学習演習 マルチモーダルAI技術と応用									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
その他	教授	林 勝裕 (68) <令和7年4月> 修士(保健学)	マーケティング論 マーケティングリサーチ 流通システム論 消費者行動論 食と経済	その他	教授	林 勝裕 (70) <令和7年4月> 修士(保健学)									
その他	准教授	梅崎 義雄 (64) <令和7年4月> 学士(機械工学)	実用英語の基礎Ⅰ 実用英語の基礎Ⅱ 実用英語 国際理解(海外研修)	その他	准教授	梅崎 義雄 (66) <令和7年4月> 学士(機械工学)									
その他	准教授	室井 由起子 (39) <令和7年4月> 博士(農学)	農園演習 スポーツ栄養学 食環境地域連携演習	その他	准教授	室井 由起子 (40) <令和7年4月> 博士(農学)									
その他	講師	村井 慶史 (42) <令和8年4月> 学士(工学)	サプライチェーンマネジメント学 デジタルビジネスマネジメント学 アントレプレナー論 アントレプレナー演習	その他	講師	村井 慶史 (42) <令和8年4月> 学士(工学)									
その他	講師	中野 達彦 (35) <令和8年4月> 修士(工学)	サプライチェーンマネジメント学 デジタルビジネスマネジメント学 アントレプレナー論 アントレプレナー演習	その他	講師	中野 達彦 (36) <令和8年4月> 修士(工学)									
その他	講師	清川 隼矢 (31) <令和8年4月> 学士(メディア学)	サプライチェーンマネジメント学 デジタルビジネスマネジメント学 アントレプレナー論 アントレプレナー演習	その他	講師	清川 隼矢 (32) <令和8年4月> 学士(メディア学)									
その他	講師	千住 和久 (31) <令和8年4月> 修士(理学)	サプライチェーンマネジメント学 デジタルビジネスマネジメント学 アントレプレナー論 アントレプレナー演習	その他	講師	千住 和久 (31) <令和8年4月> 修士(理学)									
その他	講師	小崎 竜也 (26) <令和8年4月> 学士(情報工学)	サプライチェーンマネジメント学 デジタルビジネスマネジメント学 アントレプレナー論 アントレプレナー演習	その他	講師	小崎 竜也 (27) <令和8年4月> 学士(情報工学)									
その他	講師	横山 和彦 (67) <令和8年9月> 修士(情報工学)	センシングと信号処理 先端ロボティクス論	その他	教授	横山 和彦 (68) <令和8年9月> 修士(情報工学)									

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)

・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に基づき作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に基づき作成してください。

・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。

・「認可時又は届出時」は設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究所の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。

・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。

・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任教員区分」)の順に記入してください。

・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校を除く)

・教員がサテライト等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。

・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

・指定規則の改正により、新旧が併用を並行して実施している場合は、「担当授業科目」の上段に変更後のがカリキュラム(新がカリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のがカリキュラム(旧がカリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【令和7年度】**

1. その他教員・横山和彦の職位を教授へ変更（所属：食物栄養学部食物栄養学科）。

(注)・変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第二条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
6	3	5
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	2	0	0	6	5	4	1	0	0	5	5
(4)	(1)	(0)	(0)	(5)	(5)	(0)					
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	2	0	0	6	5	4	2	0	0	6	5
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
60	3	3
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C)  $\frac{5}{6} = 100\%$   
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C')  $\frac{5}{5} = 100\%$   
 設置時の計画(A')

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数  $\frac{3}{5} = 60\%$   
 現在(報告時)の状況(B)

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C)  $\frac{0}{0} = -$   
 設置時の計画(A)

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1										
2										
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。  
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。  
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{6} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1										
2										
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和7年度における基幹教員の交代・辞任・退職等なし。
----------------------------

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時  (令和7年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。  【認可】 遵守事項	基幹教員6名のうち、3名が定年規程を超えており、相当数の主要授業科目を担当している。現時点では開設したばかりであり、実際の課程運営の実績を積み重ねるほか、学校法人基礎調査等で4年間を通じた課程運営のシュミレーションを再度行い、適切な課程運営を考察するための基礎データを収集している。(7)	本年度の課程運営実績や左記シュミレーションに基づき、適切な課程運営体制について検証し、完成年度以降の教員編制に関しては各基幹教員の専門分野や科目配当など検証結果を踏まえ、届出時の「設置等の趣旨」21頁にて記載した通り、「該当分野で優れた教育研究業績を有する教員を継続的に公募することで、後任となる基幹教員の育成及び採用を図り、本学科の教育研究が円滑に遂行されるよう、教員組織の体制強化に努める」計画である。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <食物栄養学部 食環境データサイエンス学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

本学では、「九州栄養福祉大学FD委員会規程」（別紙参照）を設け、大学としてFD委員会を設置している。同規程に基づき、本学科からは学部長（学科長を兼ねる）、学生部長を兼ねる教員が参加し、教育活動の質向上に努めている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和7年4月7日、第1回委員会を開催（併設学部リハビリテーション学部、こども教育学部からも学部長、学科長を含め、所定員が全員参加）。原則、前期、後期のそれぞれ期初、期末に計4回開催している。これに加え適宜、必要が生じた場合に委員会を開催している。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・授業評価アンケートに関する事項
- ・授業及び教育内容に関する事項
- ・新任教職員研修に関する事項
- ・教職員研修会に関する事項
- ・教員相互の授業参観に関する事項

###### b 実施方法

- ・授業評価アンケートに関しては、前期、後期の最終2週を使用し、学内ポータルサイトを通じて全学部学科の開講授業において実施。本年度開設の本学科でも上記に合わせて実施。内容としては、教員に対する学生の評価（5段階）、学生自身の学修状況に対する自己評価、自由記述欄を設けている。
- ・授業及び教育内容における協議は、FD委員会の意向に基づき毎週開催されている各学部・学科会議にて具体的に検討されるほか、適宜教務委員会においても検討される。
- ・新任教職員研修会は、年度初めに新任教職員を対象とした研修会を実施する。内容としては「建学の精神」に基づく教育理念、課程編成を中心とし、学長、学長補佐、法人事務局長、学生部長、教務部長が講師を担当。
- ・教職員研修会は、全教職員を対象に年2回（夏期、年度末）実施。学長による「建学の精神」に基づく教育理念・方針に関する基調講演のほか、その時々テーマを設定して学教職員や外部人材を講師として招き実施。
- ・教員相互の授業参観は、授業の内容や教授方法の改善を目的として、授業評価アンケートで高評価を受けた教員の授業参観を実施。参観後、教員相互が授業内容や方法について評価、意見交換を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケート：上記記載通り、本年度も前期、後期の期末に実施予定（全開講科目対象）。
- ・授業及び教育内容における協議：学科開設以降、学部・学科会議を毎週月曜日に原則開催。  
（祝日除き、出張、授業実施を除く全基幹教員参加）
- ・新任教職員研修会：例年期初4月1日に実施。令和7年度も同日に実施済。
- ・教職員研修会：令和7年8月25日、令和8年3月26日に開催予定（テーマ未定）。
- ・教員相互の授業参観：令和7年度の詳細未定。令和6年度は北九州市教育委員会より「北九州教師養成みらい塾」の出前講義を受け、食物栄養学部教職課程担当教員ほか、教職課程委員、教職課程履修学生が参加（令和6年12月3日）。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施。実施時期、方法については上記の通り。

b 教員や学生への公開状況、方法等

評価結果については5段階の総合評価とし、自由意見の記載がある。アンケート結果については、基幹教員、その他教員を問わず、個別に集計され、全授業担当科目の評価を配布。総合評価が3.5を下回った場合には、授業改善計画書の提出を求める。また、内容に関しては、本学図書館にて原本を公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現時点では、開設間もないが、教育課程については提出した設置主旨・目的の記載通り、運営できている。  
他方、入学定員充足率が極めて低位であり、来年度入学予定者の確保、募集活動の充実が急務である。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

記入例)

- ・ 令和11年7月1日 公表

###### b 公表方法

記入例)

- ・ 自己点検・評価報告書を刊行し、本学ホームページ上で公開予定。

##### ③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・ 令和5年度に一般財団法人大学・短期大学基準協会の評価を受審し、適合の評価を得ている。今後は、令和12年度に同協会にて評価を受審する計画を立てている。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 九州栄養福祉大学FD委員会規程

第1条 九州栄養福祉大学の建学の理念に基づき、教育活動の質的向上と発展を期して、ファカルティ・ディベロップメント活動の運営および今後のあるべき方向を検討するため、九州栄養福祉大学FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。

- (1) FD推進のための企画および実施に関すること。
- (2) FDに関する報告書作成に関すること。
- (3) その他FDの推進に関すること。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学長補佐
- (3) 学部長
- (4) 学生部長
- (5) 教務部長
- (6) 学科長
- (7) その他、委員長の指名した者

2 委員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。

第4条 委員会に委員長を置き、学長補佐がその任に当たる。

2 委員長は委員会の業務を総括するとともに、委員会を招集し、その議長となる。

第5条 委員会は、構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

第6条 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は平成20年4月1日から施行する。

この改正規程は平成29年4月1日から施行する。